

わくわく学習部会

令和5年2月3日発行 第8号



地域のきらりを見つけよう!

3年生は、総合的な学習の時間（はくざんっ子）で、いろいろな場面で活躍されている地元の「きらりさん」にお話を聞き、活動の様子や地域への思いをお伺いしています。1月には、願勝寺を訪問し、施設の歴史など興味深いお話をお聞きしました。また、消防団の方には、消防団の仕事や防災に関するお話、おやじの会の活動を通じての地域の子どもたちへの思い、三木町観光協会の方から三木町での小麦作りを通じての仕事や地域に対する思いをお聞きしました。子どもたちは、自分たちの校区には、施設・人・産業などさまざまな「きらり」があることを再認識し、地域を大切にしたいと考える貴重な時間を過ごしました。最後に、昔のくらしの様子（社会科）についてお話を聞いた後、インタビュー形式で質問をしました。子どもたちは、今と昔の生活の違いに、驚きながら話に聞き入っていました。



【願勝寺】



わくわく学習部会



子どもたちを楽しい本の世界へ



ファンタジーの皆さんは、行事や学習に関連ある本の読み聞かせを工夫してくれています。12月に行われた1年生保護者対象の家庭教育学級では、「なんでやねん」、「ノラネコぐんだんパンこじょう」、手作り紙芝居の「こぶとりじいさん」、「ふゆのよるのおくりもの」、いろいろな物の断面図を見せてくれる「うちわ」や大きな手作り紙芝居「あたまにかきのき」など6つの趣向を凝らした読み聞かせがあり、子どもたちはわくわくしながら物語の世界を楽しんでいました。





大獅子のお話を聞いたよ



1月25日に、3年生は大獅子保存会のサポーター2名の方から大獅子の話をお聞きました。最初に大獅子の由来や製作の苦勞について写真を見ながら説明を聞きました。その後、実際に大獅子に触れてみました。子どもたちは製作には大勢の人の工夫と協力、時間がかかっていることや伝統を守って伝えていくことの大切さやすばらしさを知ることができました。



にこにこ生活部会



掲示ボランティア

掲示ボランティアでは、不定期で学校内の掲示物を製作したり、掲示したりしてくれています。また、古くなった作品にも修正をして新しく素敵な作品に生まれ変わらせています。四季折々の作品を作って季節感を高めたり、入学式、卒業式等の行事に関わる作品も作って飾ってくださったりしています。子どもたちも、掲示ボランティアさんの作品を見て楽しんでいます。



三部会報告(今年度の総括と来年度の計画について)1月31日開催

わくわく学習部会……「ようこそ先輩」の谷川木工さんは6年のみ参加。来年度は、グラフィックデザイナーかサクソフォン奏者で検討したい。はぐくみ運動は、すごろくが学校でも家庭でも楽しめた。来年度もレジリエンスの取り組みを継続する。読み聞かせは朝のみ。昼のお話会はコロナの状況を見て決める。各学年のわくわく学習については、1年は読み聞かせ、2年は町探検を行い、ピザパーティーはできていない。牛乳パックのストライプ作りもしていないが、ありがとう集会のプレゼントにするなら、2年が担当する。4年は未来館学習。5年は盲導犬。6年ははくざんっ子学習の計画に合わせてバザー&人権を考える会。来年はキーホルダー作り(ボランティア)

にこにこ生活部会……校区ふれあい奉仕活動は、願勝寺の武田さんのお話の評判が良かった。保護者の方が参加することで、子どもたちのやる気が出て、しっかり掃除ができた。来年は予備日を設け落ち着いて取り組みたい。ピカピカ大掃除の回数を増やしていきたい。

すくすく健康部会……麦刈りは中止。あとは継続していくが、日程は未定。
年間計画は、例年通り。

